

【資料編】

資料 I ボランティア活動の変遷（年表）

【阪神・淡路大震災後の主な動き】

- 法・条例の整備等、○ 県・県社協等の取組、◎ 県・県社協等関わった主な災害（職員派遣やボランティアバスの運行等）、
・ その他の主な災害、[] 内は制度改正等の主な内容、〈 〉内は発災時期、主な支援先

		兵庫県内	全 国
緊急復興対応期	平成 6 年度 (1995.1~1995.3)	◎阪神・淡路大震災〈1月 神戸市〉 ○県災害対策総合本部に「ボランティア推進班」設置(1月) [県・県社協職員合同で組織] ○県社協「震災対策プロジェクト」を設置し、ボランティアに対応(1月)(被災10市10町でボランティアを受入) ○被災地外社協がブロックごとに被災地社協を応援(2~3月末) ○「震災復興総合相談センター」開設(3月~平成17年)	◎九州北部豪雨〈7月 大分・福岡県〉
復旧期	平成 7 年度 (1995.4~1996.3)	○「阪神・淡路大震災復興基金」設立(4月)[基金によるボランティア活動支援開始(平成16年度まで)] ○復興計画(ひょうごフェニックス計画)策定(7月) ○「被災者復興支援会議」発足(7月) ○県社協「学生ボランティアセンター」開設(8~9月) ○内閣府主催「防災とボランティアを考えるシンポジウム」兵庫県開催〈1月〉	□「防災基本計画」修正(7月)[ボランティアの受入等に関する項目を追加] □「災害対策基本法」改正(12月)[ボランティアという言葉初めて法律に明記] □「防災とボランティアの日(1/17)」及び「同週間(1/15~1/21)」制定に関する閣議決定(12月)
	平成 8 年度 (1996.4~1997.3)	○「フェニックスプラザ(阪神・淡路大震災復興支援館)」開設(7月) ○「生活復興県民ネット」発足(10月) ◎ロシアタンカー重油流出事故〈1月 日本海沿岸〉	
	平成 9 年度 (1997.4~1998.3)	○「ボランティア活動支援センター(仮称)構想」策定(8月)	
復興期	平成 10 年度 (1998.4~1999.3)	○「生活復興 NPO 情報プラザ」開設(4月) □「県民ボランティア活動の促進等に関する条例」施行(12月) ○「ボランティア活動支援センター(仮称)基本計画」策定(3月)	□「被災者生活再建支援法」施行(11月) □「特定非営利活動促進法(以下、「NPO法」)」施行(12月)
	平成 11 年度 (1999.4~2000.3)	○兵庫県第一号の NPO 法人認証(4月) ○「NPO と行政の生活復興会議」発足(6月)[平成13年「NPO と行政の協働会議」に改組]	◎有珠山噴火〈3月 北海道〉
	平成 12 年度 (2000.4~2001.3)	○「生きがいしごとサポートセンター」開設(10月) □「県民ボランティア活動の促進のための施策の推進に関する基本方針」策定(11月)	□「介護保険法」施行(4月) □共同募金会「災害等準備金制度」を創設(6月) ◎鳥取県西部地震〈10月 鳥取県〉
	平成 13 年度 (2001.4~2002.3)	○「まちの保健室」開設(4月) ○近畿ブロック府県・指定都市社協「災害時の相互支援に関する協定」締結(12月) ○「災害ボランティア活動支援指針」策定(3月)	□認定 NPO 法人制度の創設
	平成 14 年度 (2002.4~2003.3)	○「人と防災未来センター」オープン(4月) ○「ひょうごボランティア基金」創設(4月)[基金による活動資金支援開始] ○「ひょうごボランティアプラザ」開設(6月) [設置] 兵庫県 [管理運営] 兵庫県社協	
	平成 15 年度 (2003.4~2004.3)	□「県民の参画と協働の推進に関する条例」施行(4月) 県内の NPO 法人数 500 団体を超える ○内閣府主催「防災とボランティアのつどい」兵庫県開催〈1月〉	□「改正 NPO 法」施行(5月)[経済・雇用など5分野追加] □「地方自治法」一部改正(9月)[指定管理者制度開始]

	兵庫県内	全 国	
復興期	平成 16 年度 (2004.4~2005.3)	◎台風 23 号災害〈10 月 但馬・淡路地域〉	□「改正被災者生活再建支援法」施行 (4 月) ◎福井豪雨〈7 月 福井県〉 ◎新潟県中越地震〈10 月 新潟県〉
	平成 17 年度 (2005.4~2006.3)	○「住宅再建共済制度」(フェニックス共済)運用開始(9 月)	□「個人情報保護に関する法律」施行 (4 月)
	平成 18 年度 (2006.4~2007.3)	○「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議」設置 (9 月) 県内の NPO 法人数 1,000 団体を超える	□「障害者自立支援法」施行(4 月) ◎能登半島地震〈3 月 石川県〉
	平成 19 年度 (2007.4~2008.3)	○「兵庫県地域防災計画」修正(3 月) [災害ボランティア活動 支援体制の充実]	◎新潟県中越沖地震〈7 月 新潟県〉 □「改正被災者生活再建支援法」施行 (12 月)
	平成 20 年度 (2008.4~2009.3)		□「公益法人制度改革 3 法案」施行(12 月)
	平成 21 年度 (2009.4~2010.3)	◎台風 9 号災害〈8 月 西播磨・但馬地域〉	
	平成 22 年度 (2010.4~2011.3)		◎東日本大震災〈3 月 宮城・岩手・福島 県等〉
	平成 23 年度 (2011.4~2012.3)	○閉所後、ひょうごボランティアプラザに「東日本大震災ボ ランティア・インフォメーションセンター兵庫」開設(5 月) ◎台風 15 号災害〈9 月 淡路地域〉 ◎平成 24 年豪雪〈2 月 新温泉町〉	◎台風 12 号災害〈8 月 和歌山県〉
	平成 24 年度 (2012.4~2013.3)	○県社協・県内市町社協「災害時の相互支援要綱」施行(8 月) □「県民ボランティア活動の促進等に関する条例」及び 「兵庫県税条例」の改正・施行(3 月) ○内閣府主催「みんなの BOUSAI!! In 神戸」兵庫県開催 〈1 月〉	□「NPO 法」改正・施行(4 月) [20 分野、 認定制度・所轄庁変更、新会計基準] ◎九州北部豪雨〈7 月 熊本県〉 ◎京都府南部豪雨〈8 月 京都府〉
	平成 25 年度 (2013.4~2014.3)	◎淡路島地震〈4 月 淡路地域〉 県内の NPO 法人数 2,000 団体を超える	□「災害対策基本法」改正(6 月) [地方公 共団体とボランティアの連携を規定] ◎山口・島根豪雨〈7 月 山口県〉 ◎台風 18 号災害〈9 月 京都府〉 □新公益法人制度への移行完了(2008-) [一般社団法人拡大]
	平成 26 年度 (2014.4~2015.3)	◎丹波市豪雨災害〈8 月 丹波市〉 ○ひょうごボランティアプラザ・JC 近畿地区兵庫ブロック 「災害時を想定した相互協力に関する協定」締結(9 月)	・広島豪雨災害〈7 月〉 ◎台風 11 号災害〈8 月 徳島県〉
	平成 27 年度 (2015.4~2016.3)	○ひょうごボランティアプラザ・兵庫県旅館ホテル生活衛 生同業組合「災害ボランティアの宿泊支援に関する協 定」締結(3 月)	◎関東・東北豪雨〈9 月 宮城・茨城県〉
	平成 28 年度 (2016.4~2017.3)	□「県民ボランティア活動の促進のための施策の推進に関 する基本方針」改訂(4 月) ○ひょうごボランティアプラザ・ライオンズクラブ国際協 会 335-A 地区 「災害時におけるボランティア支援に関する協定」締結(4 月) ○ひょうごボランティアプラザ・ライオンズクラブ国際協 会 335-D 地区 「災害時におけるボランティア支援に関する協定」締結(6 月)	◎熊本地震〈4 月 熊本県〉 □NPO 法改正(6 月) [情報公開の強化拡大] ◎台風 10 号災害〈10 月 岩手県〉 ◎鳥取県中部地震〈10 月 鳥取県〉

		兵庫県内	全 国
復興期	平成29年度 (2017.4~2018.3)		◎九州北部豪雨〈7月 大分・福岡県〉
	平成30年度 (2018.4~2019.3)		□「災害対策基本法」改正(6月) [地方公共団体の広域応援態勢の強化] ◎大阪北部地震〈6月 大阪府〉 ◎西日本豪雨〈7月 岡山県〉 ◎北海道胆振東部地震〈9月 北海道〉
	令和元年度 (2019.4~2020.3)	○「大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト」制度の創設(4月)、台風19号にて初適用(10月) ○内閣府主催「防災とボランティアのつどい」兵庫県開催	◎前線に伴う大雨〈8月 佐賀県ほか〉 ◎台風第15号災害〈9月 千葉県ほか〉 ◎台風第19号災害〈10月 福島県ほか〉 ・国内初の新型コロナウイルス感染症患者確認〈1月〉 □新型コロナウイルス感染症を、感染症法における指定感染症に指定〈2月〉
	令和2年度 (2020.4~2021.3)	・緊急事態措置の適用〈4月~5月、1月~2月〉	・新型コロナウイルス感染症の拡大 ◎令和2年7月豪雨(熊本豪雨)〈7月 熊本・大分県ほか〉 □救助とボランティア活動の調整に必要な人員の確保について、災害救助法の国庫負担の対象となる〈8月〉
	令和3年度 (2021.4~2022.3)	○大吉財団・県社協「災害救援用キャンピングカーを活用した災害ボランティア支援に関する覚書」を締結(4月) ・まん延防止等重点措置の適用〈4月、6月~7月、8月、1月~3月〉 ・緊急事態措置の適用〈4月~6月、8月~9月〉	□災害対策基本法改正 [災害時における円滑かつ迅速な避難の確保] 〈5月〉 □NPO法改正 [NPO法人の設立・運営手続きの簡素化] 〈6月〉 ◎令和3年7月豪雨〈7月 静岡県ほか〉
	令和4年度 (2022.4~2023.3)	○防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)2022in兵庫の開催〈10月〉	
	令和5年度 (2023.4~2024.3)	◎台風7号災害〈8月 香美町〉 ○ひょうごボランティアプラザの施設について、オンライン予約システムを開始〈7月〉	・新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の「5類感染症」に引き下げとなる〈5月〉 ◎令和6年能登半島地震〈1月 石川県〉
	令和6年度 (2024.4~2025.3)	○「大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト」令和6年能登半島地震にて適用〈4月〉 ○県・県社協「兵庫県災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書」を締結〈8月〉 ○内閣府主催「防災とボランティアのつどい」兵庫県開催〈1月〉 県内のNPO法人数2,085団体 (R6.12.31現在)	・令和6年9月豪雨〈9月 石川県〉 □「防災基本計画」の修正〈6月〉 [災害ケースマネジメントに関する記載が追加される] □国の「被災者支援団体への交通費補助事業」開始〈1月〉

出展 ひょうご震災20年ボランティア活動検証委員会編, 2015『ひょうご震災20年ボランティア活動検証報告書』兵庫県。
宮垣 元, 2020「その後のボランティア元年-NPO・25年の検証-」(晃洋書房)

資料Ⅱ 県民ボランティア活動実態調査 年度別一覧

過去の類似選択肢は今回調査（R6年度）の選択肢に集約し、単年度のみを選択肢等、経年比較する上で重要でない選択肢は削除している。

（単位：回答数は件、選択肢は％）

番号	項目	選択肢等	年度							
			R6	R1	H26	H21	H16	H12	H8	H4
1	法人格	回答数	930	2,584	2,642	2,206	5,547	4,829	-	-
		任意団体	74.8	84.2	82.5	88.3	94.4	85.3	-	-
		NPO法人	19.4	14.0	16.5	11.2	3.7	1.8	-	-
		認定NPO法人	1.4	-	-	-	-	-	-	-
		一般社団法人・一般財団法人	0.9	-	-	-	-	-	-	-
		公益社団法人・公益財団法人	0.4	-	-	-	-	-	-	-
		その他の法人	3.1	1.4	0.5	0.5	-	1.9	-	-
		無回答	-	0.3	0.5	0.1	1.8	10.9	-	-
2	ボランティア活動の分野 (複数回答、H8のみ単一回答)	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	4,829	3,859	-
		福祉の増進	54.0	63.9	70.0	70.0	65.7	70.4	73.5	-
		まちづくりの推進	30.1	27.4	24.6	27.7	21.0	23.1	3.4	-
		子どもの健全育成	30.8	27.0	26.4	29.8	22.8	18.0	-	-
		保健・医療の増進	21.2	26.5	24.6	25.4	15.5	20.2	2.6	-
		文化、芸術、スポーツの振興	25.5	24.2	23.5	22.7	22.1	21.8	3.5	-
		社会教育の推進	22.4	21.5	19.0	20.4	17.0	22.0	1.3	-
		ボランティア・NPOへの支援	12.0	13.9	8.1	10.9	11.1	7.4	-	-
		環境の保全	14.2	12.6	12.6	17.5	15.3	19.8	1.7	-
		地域安全	9.4	10.3	10.6	14.9	7.5	7.6	-	-
		災害救援	6.2	7.9	8.2	10.0	7.7	8.9	3.9	-
		国際協力	4.3	4.6	4.1	3.2	5.0	5.8	0.5	-
		人権の擁護、平和の推進	6.3	4.1	5.1	4.4	4.2	3.9	0.1	-
		観光振興	5.7	3.6	4.0	-	-	-	-	-
		男女共同参画社会の形成の促進	3.8	3.1	3.3	4.2	4.0	3.0	-	-
		農山漁村又は中山間地域の振興	3.5	2.4	2.7	-	-	-	-	-
		情報化社会の発展	2.2	2.1	2.1	2.0	1.7	-	-	-
		消費者の保護	2.0	2.0	2.7	3.0	2.8	-	-	-
		職業能力の開発又は雇用機会の拡充	2.4	1.5	2.3	1.7	0.8	-	-	-
		経済活動の活性化	2.8	1.0	1.4	1.3	1.1	-	-	-
科学技術の振興	1.1	0.7	0.8	0.3	0.2	-	-	-		
その他	3.4	7.6	1.6	-	1.5	5.1	9.0	-		
無回答	-	1.0	1.4	-	1.5	0.8	0.5	-		
3	主な活動地域	別表1								
4	活動者数	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	4,829	3,859	2,991
		1-20人	68.7	70.7	70.4	66.0	56.5	55.7	66.7	62.7
		21-40人	17.2	16.9	15.5	19.3	18.6	19.9	17.2	18.1
		41-60人	6.9	4.7	5.5	5.0	7.1	7.5	6.3	6.1
		61-100人	3.4	2.5	3.3	3.8	5.0	6.2	4.0	5.4
		101-160人	0.8	1.5	1.2	1.5	3.0	3.4	3.9	5.5
		161人以上	2.9	1.5	1.3	2.0	6.3	7.1	1.6	
		無回答	0.1	2.1	2.8	2.4	3.5	0.0	0.3	2.2

番号	項目	選択肢等	年度							
			R6	R1	H26	H21	H16	H12	H8	H4
5	活動の中心 [性別]	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		ほとんどが男性	8.6	7.9	7.3	7.4	-	-	-	-
		やや男性が多い	8.2	6.9	6.6	6.3	-	-	-	-
		ほとんどが女性	51.4	58.9	64.3	62.7	-	-	-	-
		やや女性が多い	13.3	15.3	12.7	13.8	-	-	-	-
		男女ほぼ同じくらい	16.8	9.8	8.2	9.3	-	-	-	-
		無回答	-	1.1	1.0	0.6	-	-	-	-
6	活動の中心 [年齢別]	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		20歳未満	1.2	1.0	1.0	1.1	-	-	-	-
		20歳以上、34歳以下	2.2	1.4	1.7	2.6	-	-	-	-
		35歳以上、49歳以下	10.6	6.2	7.8	8.2	-	-	-	-
		50歳以上、64歳以下	25.1	19.9	30.6	45.1	-	-	-	-
		65歳以上、74歳以下	43.0	53.8	54.5	40.7	-	-	-	-
		75歳以上	16.0	12.8			-	-	-	-
		無回答	1.9	4.9	4.5	2.5	-	-	-	-
7	活動のきっかけ (複数回答)	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		友人・知人・家族・親族からの紹介	53.2	-	-	-	-	-	-	-
		前からいる活動者の紹介	51.1	61.6	72.8	60.7	-	-	-	-
		行政や社会福祉協議会(ボランティアセンターなど)からの紹介	18.4	18.2	23.7	22.6	-	-	-	-
		貴グループ・団体の出すチラシ、会報などを通じて	16.5	15.6	15.4	15.6	-	-	-	-
		シンポジウムやイベントを通じて	11.1	12.6	12.2	10.7	-	-	-	-
		ほかのグループ、団体からの紹介	12.0	10.7	16.4	15.5	-	-	-	-
		市町などの広報誌やマスコミなどでの紹介、案内	8.9	8.8	9.7	10.1	-	-	-	-
		ホームページ、ブログ等の情報を通じて	9.0	5.3	5.8	5.6	-	-	-	-
		NPO法人などの中間支援組織からの紹介	3.1	1.9	1.9	1.6	-	-	-	-
		企業や商店などからの紹介	0.5	0.3	1.0	0.6	-	-	-	-
		SNSによる個別の声掛け(DMなど)を通じて	3.1	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体の公式LINEアカウントを見て	1.0	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のInstagramを見て	4.1	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のfacebookを見て	2.9	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のX(旧Twitter)を見て	0.6	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のYoutube動画・ライブ配信を見て	0.5	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のTikTokを見て	0.1	-	-	-	-	-	-	-
		SNSでの口コミを見て	1.1	-	-	-	-	-	-	-
		気軽に参加できる内容や仕組みだったから	-	24.7	-	-	-	-	-	-
		報酬や謝金が見られるから	-	1.4	-	-	-	-	-	-
		その他	9.8	18.8	8.9	26.8	-	-	-	-
		無回答	4.0	1.9	1.8	1.2	-	-	-	-
8	1年間の活動回数	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	4,829	3,859	2,991
		5回程度以下	5.1	5.6	5.6	4.7	18.1	25.0	20.4	30.8
		6回以上、11回以下	9.4	9.6	10.2	9.6	18.6			
		12回以上、23回以下	37.6	35.6	34.8	37.6	26.4	23.8	21.9	15.2
		24回以上、36回以下	12.7	14.8	13.8	13.2	12.8	21.4	22.3	6.6
		37回以上	35.3	32.8	33.7	33.4	22.8	24.2	33.7	21.8
		無回答	-	1.7	1.8	1.5	1.3	5.5	1.7	25.6

番号	項目	選択肢等	年度							
			R6	R1	H26	H21	H16	H12	H8	H4
9	1回あたりの活動者数	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	4,829	3,859	2,991
		4人以下	24.2	22.9	22.4	20.0	17.9	28.3	38.9	24.1
		5人以上、9人以下	40.1	41.0	40.6	36.6	30.0	28.8	28.8	22.7
		10人以上、19人以下	25.4	23.4	25.6	29.1	25.5	21.9	17.9	15.6
		20人以上、49人以下	8.9	9.7	8.1	11.3	15.3	13.6	9.0	9.2
		50人以上、99人以下	0.9	1.0	1.1	0.9	3.6	2.4	2.2	2.1
		100人以上	0.5	0.4	0.2	0.4	2.2	1.7	0.9	0.9
		無回答	-	1.6	2.0	1.6	5.5	3.2	2.3	25.4
10	参加者数 ※R1までは「利用者数」	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		0人	0.3	11.8	8.3	10.0	-	-	-	-
		1-20人	29.7	35.5	28.9	27.4	-	-	-	-
		21-40人	11.0	16.9	19.6	18.8	-	-	-	-
		41-60人	5.8	7.0	9.5	9.0	-	-	-	-
		61-100人	6.1	6.4	8.6	9.7	-	-	-	-
		101-160人	28.2	12.1	2.5	3.3	-	-	-	-
		161人以上			12.3	10.6	-	-	-	-
無回答	18.9	10.4	10.4	11.3	-	-	-	-		
11	参加のきっかけ (複数回答) ※R1までは「利用のきっかけ」	回答数	754	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		友人・知人・家族・親族からの紹介	54.2	-	-	-	-	-	-	-
		前からいる参加者や活動者の紹介	56.9	53.3	61.3	56.2	-	-	-	-
		行政や社会福祉協議会(ボランティアセンターなど)からの紹介	27.9	33.3	42.8	38.3	-	-	-	-
		ほかのグループ、団体からの紹介	17.4	15.4	23.1	21.0	-	-	-	-
		貴グループ・団体の出すチラシ、会報などを通じて	29.7	22.6	22.8	23.3	-	-	-	-
		市町などの広報誌やマスコミなどでの紹介、案内	11.8	11.1	13.6	15.6	-	-	-	-
		シンポジウムやイベントを通じて	11.9	9.5	11.5	11.6	-	-	-	-
		ホームページ、ブログ等の情報を通じて	14.3	8.2	9.3	7.3	-	-	-	-
		NPO法人などの中間支援組織からの紹介	3.8	3.1	3.6	3.3	-	-	-	-
		企業や商店などからの紹介	1.4	1.5	2.3	1.8	-	-	-	-
		SNSによる個別の声掛け(DMなど)を通じて	4.9	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体の公式LINEアカウントを見て	2.4	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のInstagramを見て	8.1	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のfacebookを見て	6.4	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のX(旧Twitter)を見て	0.4	-	-	-	-	-	-	-
		貴グループ・団体のYoutube動画・ライブ配信を見て	1.6	-	-	-	-	-	-	-
SNSでの口コミを見て	1.3	-	-	-	-	-	-	-		
その他	6.9	13.4	5.2	17.5	-	-	-	-		
無回答	2.1	16.4	7.3	8.0	-	-	-	-		
12	支出総額	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	4,829	3,859	2,991
		10万円未満	40.6	50.0	49.6	48.5	55.9	57.5	66.7	64.4
		10万円以上、100万円未満	40.0	35.6	34.0	38.2	30.3	29.8	24.8	22.9
		100万円以上、500万円未満	9.0	5.2	5.1	9.3	6.7	9.4	3.7	3.2
		500万円以上、1,000万円未満	2.5	1.5	2.2		1.6			
		1,000万円以上、2,000万円未満	2.5	1.0	1.7		2.2			
		2,000万円以上	5.4	3.2	3.3					
		無回答	-	3.6	4.0	4.0	3.4	3.1	4.8	9.5

番号	項目	選択肢等	年度							
			R6	R1	H26	H21	H16	H12	H8	H4
13	収入内訳(項目別にみた収入の割合) (複数回答)	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		会費・入会金	65.5	62.2	65.8	68.3	-	-	-	-
		受託事業収入	20.4	14.9	27.8	26.6	-	-	-	-
		自主事業収入	26.2	21.3			-	-	-	-
		プラザ助成金	33.9	54.5	56.4	64.0	-	-	-	-
		行政助成金	54.9	52.7	52.3	58.5	-	-	-	-
		民間助成金	21.5	12.0	10.9	13.2	-	-	-	-
		寄附金	23.5	15.4	17.4	18.3	-	-	-	-
		借入金	2.9	1.6	-	-	-	-	-	-
		その他	23.8	16.6	19.7	17.5	-	-	-	-
14	使用している事務書類等 (複数回答)	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		活動者や利用者の名簿	89.1	84.9	85.8	86.0	-	-	-	-
		決算報告書、収支報告書	86.7	75.9	78.2	77.9	-	-	-	-
		明文化された規約・会則	71.3	57.7	53.0	47.7	-	-	-	-
		事業計画書	60.3	50.5	53.7	51.1	-	-	-	-
		団体の基本情報(連絡先や事業内容等)の公開	36.9	24.5	-	-	-	-	-	-
		会報やニュースレター	22.4	19.3	21.5	21.3	-	-	-	-
		専用の事務所スペース	19.4	15.2	-	-	-	-	-	-
		ホームページ・ブログ	27.3	14.6	17.3	14.1	-	-	-	-
		相談できる税理士もしくは司法書士	10.2	6.5	-	-	-	-	-	-
		チラシ	45.3	-	-	-	-	-	-	-
		団体の公式LINEアカウント	8.6	-	-	-	-	-	-	-
		団体の公式Instagramアカウント	15.7	-	-	-	-	-	-	-
		団体の公式facebookアカウント	14.8	-	-	-	-	-	-	-
		団体の公式X(旧Twitterアカウント)	4.1	-	-	-	-	-	-	-
		団体の公式TikTokアカウント	0.3	-	-	-	-	-	-	-
		団体の公式YouTubeチャンネル	4.2	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	5.0	4.5	4.8	-	-	-	-		
15	活動における問題点・課題 (複数回答) ※H8年度は、他年度との計算方法と合わせるため、当該報告書の結果から再計算した	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	4,829	3,859	4,370
		活動者の数が足りない	50.9	45.4	39.7	38.6	-	38.2	23.0	16.2
		世代交代が遅れている	44.0	42.6	38.4	37.3	-	32.3	26.7	-
		活動者の能力向上が必要である	23.9	22.3	23.5	23.5	34.7	-	-	-
		活動に必要な資金が不足している	27.6	20.5	24.1	29.2	27.3	23.6	16.9	15.7
		活動がマンネリ化している	16.8	19.4	17.3	19.6	-	-	-	-
		他の団体との連携や協働が弱い	11.0	12.9	9.0	-	15.8	-	-	-
		リーダーを支援する体制が弱い	12.0	12.1	12.0	13.7	-	-	-	-
		社会的信用や社会での認知度が低い	9.5	8.4	9.4	10.2	-	-	-	-
		地域社会との関わりが乏しい	7.1	7.3	9.4	8.9	-	-	-	-
		活動場所の確保が難しい	11.5	7.3	8.4	8.4	-	8.0	3.3	2.7
		組織運営・管理の知識、ノウハウが不足している	6.9	5.8	5.8	6.9	-	-	-	-
		活動者同士の意思疎通が十分でない	4.1	3.2	4.1	5.4	-	1.7	1.3	1.3
		他団体(行政、企業を含む)の進出で活動の場が狭くなった	1.8	1.4	0.9	1.0	-	-	-	-
		その他	4.7	6.7	3.8	6.2	9.2	4.5	4.3	4.5
特に問題はない	11.3	13.9	14.8	11.3	18.3	16.3	26.1	37.8		
無回答	-	3.1	4.0	2.7	2.9	2.9	5.5	9.7		

番号	項目	選択肢等	年度							
			R6	R1	H26	H21	H16	H12	H8	H4
16	他団体との連携・協働	回答数	930	2,478	2,515	2,142	4,997	-	-	-
		活動している	61.8	55.9	63.2	52.1	53.4	-	-	-
		活動していない	38.2	42.1	36.8	46.6	41.7	-	-	-
		無回答	-	2.1	-	1.3	4.9	-	-	-
17	連携・協働の相手先 (複数回答)	回答数	575	1,384	1,590	-	-	-	-	-
		地域を基盤とする団体	69.9	65.8	66.9	-	-	-	-	-
		上記以外のボランティア団体	61.6	49.1	45.3	-	-	-	-	-
		事業所等	34.3	37.5	39.2	-	-	-	-	-
		学校等	42.1	41.2	37.4	-	-	-	-	-
		無回答	5.6	3.5	-	-	-	-	-	-
18	連携・協働を最も強化したい団体等	回答数	930	2,478	2,515	-	-	-	-	-
		地域を基盤とする団体	32.9	39.7	27.2	-	-	-	-	-
		上記以外のボランティア団体	16.7	5.9	14.6	-	-	-	-	-
		学校等	15.4	10.2	10.8	-	-	-	-	-
		事業所等	5.8	4.0	4.2	-	-	-	-	-
		その他	3.0	3.0	3.9	-	-	-	-	-
		特に必要と思わない	26.2	23.7	26.8	-	-	-	-	-
無回答	-	13.4	12.6	-	-	-	-	-		
19	行政・社協とのつながり	回答数	930	2,478	2,515	2,142	-	-	-	-
		日常的なつながりがある	50.1	48.8	69.9	53.2	-	-	-	-
		呼びかけがあれば協力する程度の関係である	34.1	37.0	20.1	35.4	-	-	-	-
		ほとんどつながりはない	15.8	10.7	7.5	10.0	-	-	-	-
		無回答	-	3.6	2.5	1.3	-	-	-	-
20	行政・社協とのつながりの内容 (複数回答)	回答数	466	1,210	1,758	1,140	-	-	-	-
		助成金、補助金を受けている	67.8	68.1	72.6	68.9	-	-	-	-
		情報やアドバイスを受けている	47.9	48.3	38.2	44.5	-	-	-	-
		活動の場の提供を受けている	33.3	39.6	43.6	41.6	-	-	-	-
		研修機会の提供を受けている	26.8	30.0	29.7	36.4	-	-	-	-
		定期的に情報交換をしている	36.9	24.0	23.8	27.4	-	-	-	-
		他の団体・組織との交流の場の提供を受けている	26.8	23.8	22.7	28.8	-	-	-	-
		協働事業を提案し実施している	15.2	13.6	13.1	18.0	-	-	-	-
		事業委託を受けている	15.5	12.4	13.7	14.9	-	-	-	-
		政策立案過程に参画している	3.9	4.4	5.7	7.5	-	-	-	-
		職員を対象にした研修等を開催している	3.4	3.6	3.8	4.1	-	-	-	-
		政策提言を行っている	1.9	3.0	-	-	-	-	-	-
		その他	3.6	3.7	1.8	3.7	-	-	-	-
		無回答	3.0	7.3	3.6	5.4	-	-	-	-

番号	項目	選択肢等	年度							
			R6	R1	H26	H21	H16	H12	H8	H4
21	行政・社協への要望 (複数回答)	回答数	930	1,210	1,758	2,142	-	-	-	-
		各種申請や事業を実施するまでの手続きを簡素化してほしい	36.0	30.7	32.8	35.2	-	-	-	-
		書類作成など団体側の事務的負担を少なくしてほしい	28.6	25.7	27.4	27.1	-	-	-	-
		助成金、人材、他団体の事業など情報を提供してほしい	24.3	24.9	25.1	27.0	-	-	-	-
		人材養成のための研修事業を提供してほしい	9.7	15.5	17.9	15.5	-	-	-	-
		他の団体・組織との交流の場を増やしてほしい	13.2	13.7	14.6	13.7	-	-	-	-
		活動場所を提供して欲しい	14.8	11.5	-	-	-	-	-	-
		団体側の金銭的負担を少なくしてほしい	16.3	10.3	11.8	13.5	-	-	-	-
		行政、社会福祉協議会が提案する計画の立案過程に参画させてほしい	7.8	6.4	7.7	8.5	-	-	-	-
		事業委託や協働事業を増やしてほしい	8.1	6.0	7.5	6.7	-	-	-	-
		企業、商店などとの交流の場を増やしてほしい	6.5	4.9	4.9	3.5	-	-	-	-
		協働事業に対して行政、社会福祉協議会側の関与を多くしてほしい	5.6	4.9	4.6	4.5	-	-	-	-
		協働事業に対して行政、社会福祉協議会側の関与を少なくしてほしい	1.2	1.2	1.0	1.4	-	-	-	-
		その他	2.8	4.1	2.5	3.5	-	-	-	-
		特にない	24.8	19.3	22.0	20.4	-	-	-	-
無回答	-	9.8	5.8	5.6	-	-	-	-		
22	県内におけるボランティア活動の30年の振り返り	別表2								
23	30年間の行政の政策 (複数回答)	回答数	930	2,478	2,515	-	-	-	-	-
		助成金	47.1	41.4	56.8	-	-	-	-	-
		活動場所の提供	14.3	18.6	24.7	-	-	-	-	-
		情報提供・相談	16.1	18.6	19.7	-	-	-	-	-
		特定非営利活動促進法(NPO法)	17.3	11.3	11.6	-	-	-	-	-
		他団体との交流の機会の提供	10.6	11.2	19.2	-	-	-	-	-
		障害者総合支援法(障害者自立支援法)	10.3	9.6	8.5	-	-	-	-	-
		活動している場所の整備・改修	8.5	9.4	10.4	-	-	-	-	-
		個人情報保護法	8.2	9.7	2.9	-	-	-	-	-
		人材育成	5.2	7.7	6.8	-	-	-	-	-
		介護保険法	5.9	7.3	7.8	-	-	-	-	-
		事業の委託	4.5	4.4	5.8	-	-	-	-	-
		認定NPO法人制度	4.8	3.1	4.1	-	-	-	-	-
		指定管理者制度	2.9	2.1	2.1	-	-	-	-	-
		生活困窮者自立支援法	2.7	2.0	-	-	-	-	-	-
		一般社団法人及び一般財団法人制度	2.8	1.2	-	-	-	-	-	-
		その他	1.2	1.7	0.4	-	-	-	-	-
		特にない	11.1	15.7	7.8	-	-	-	-	-
		わからない	14.9	8.9	8.0	-	-	-	-	-
無回答	5.9	8.1	8.0	-	-	-	-	-		

※過去の類似選択肢は今回調査（R6年度）の選択肢に集約した。

※単年度のみの選択肢等、経年比較する上で重要でない選択肢は削除した。

別表1 主な活動地域

番号	選択肢等	R6年度		R1年度		H26年度		H21年度	H16年度	H12年度	H8年度	H4年度
		発足時	現在	発足時	現在	発足時	現在					
3	回答数	930	930	2,478	2,478	2,515	2,515	2,142	3,609	4,829	3,859	-
	小学校区内	21.9	21.2	25.2	22.0	23.9	19.8	30.2	-	-	-	-
	「平成の大合併」以前の市町内	4.0	3.4	9.3	7.1	12.4	9.1	10.0	-	-	-	-
	一つの市町内(神戸市では区内)	41.9	39.5	36.4	35.0	36.1	36.0	29.0	72.2	73.4	83.5	-
	複数の市区町内(郡域など)	21.5	24.2	16.0	21.3	15.0	20.3	18.8	18.5	18.1	11.1	-
	県内全域	4.7	4.6	3.5	4.3	3.7	4.5	4.9	4.0	3.6	3.1	-
	県域を越えた広域(海外を含む)	4.2	5.6	3.8	5.5	3.6	5.9	4.1	4.1	4.1	1.7	-
	無回答	1.7	1.5	5.9	4.7	5.3	4.4	3.0	1.2	0.7	0.6	-

別表2 県内におけるボランティア活動の30年の振り返り

番号	選択肢等	そう思う				ややそう思う				どちらともいえない			
		R6年度	R1年度	H26年度	H16年度	R6年度	R1年度	H26年度	H16年度	R6年度	R1年度	H26年度	H16年度
22	ボランティア活動に対する一般的な認知、理解が高まった	25.1	47.8	49.2	80.6	38.1	28.5	25.5	(不問)	23.8	9.8	9.9	9.2
	ボランティア活動に参加する人の層が広がり、多様性が高まった	17.7	36.9	(不問)	(不問)	35.1	33.0	(不問)	(不問)	30.2	14.1	(不問)	(不問)
	ボランティア活動が身近となり、気軽に参加できるようになった	17.3	29.9	(不問)	58.8	35.7	35.3	(不問)	(不問)	31.5	17.7	(不問)	19.3
	ボランティア活動が、社会の中で、一定の役割を果たすようになった	24.8	41.1	45.1	(不問)	41.0	34.9	30.6	(不問)	22.2	9.6	9.0	(不問)
	ボランティア活動を行う団体同士のネットワークが広がった	10.8	14.0	20.2	37.5	28.2	31.0	30.6	(不問)	37.5	31.9	27.2	38.4
	ボランティア活動に対する社会制度や支援制度が充実した	8.8	14.5	16.3	33.8	28.8	37.8	33.6	(不問)	38.9	26.9	27.4	34.6
	ボランティア活動に対する学校教育での取組が活発になった	9.1	12.9	14.5	43.8	23.8	33.3	31.5	(不問)	41.7	31.1	30.5	36.4
	ボランティア活動に対する企業の社会貢献活動が活発になった	9.5	12.7	14.0	26.4	27.1	33.4	30.5	(不問)	38.7	30.6	29.8	45.6
	ボランティア活動を通じて、「参画と協働」が進んだ	10.2	12.9	15.7	(不問)	32.4	36.0	36.3	(不問)	37.1	29.1	26.0	(不問)
	選択肢等	あまり思わない				思わない				無回答			
		R6年度	R1年度	H26年度	H16年度	R6年度	R1年度	H26年度	H16年度	R6年度	R1年度	H26年度	H16年度
	ボランティア活動に対する一般的な認知、理解が高まった	5.4	1.4	1.9	(不問)	2.8	0.5	0.7	4.4	4.9	12.1	12.8	5.8
	ボランティア活動に参加する人の層が広がり、多様性が高まった	7.7	2.5	(不問)	(不問)	4.3	0.9	(不問)	(不問)	4.9	12.6	(不問)	(不問)
	ボランティア活動が身近となり、気軽に参加できるようになった	6.6	3.8	(不問)	(不問)	3.8	0.8	(不問)	15.6	5.2	12.6	(不問)	6.4
	ボランティア活動が、社会の中で、一定の役割を果たすようになった	4.2	1.6	1.5	(不問)	2.4	0.5	0.4	(不問)	5.5	12.3	13.4	(不問)
	ボランティア活動を行う団体同士のネットワークが広がった	10.0	5.8	5.5	(不問)	7.2	2.5	1.7	16.6	6.3	14.8	14.8	7.4
	ボランティア活動に対する社会制度や支援制度が充実した	11.4	4.5	6.2	(不問)	6.0	1.9	1.5	24.2	6.0	14.4	14.9	7.5
	ボランティア活動に対する学校教育での取組が活発になった	10.6	4.9	5.7	(不問)	7.6	1.7	1.4	12.2	7.1	16.0	16.4	7.6
	ボランティア活動に対する企業の社会貢献活動が活発になった	10.4	5.5	7.4	(不問)	7.5	2.3	1.9	20.4	6.8	15.5	16.4	7.6
	ボランティア活動を通じて、「参画と協働」が進んだ	8.9	4.9	5.2	(不問)	5.2	1.7	1.5	(不問)	6.2	15.5	15.3	(不問)

※16年度回答の「わからない」は、「どちらともいえない」とした。

※過去の類似選択肢は今回調査(R6年度)の選択肢に集約した。

※単年度のみ選択肢等、経年比較する上で重要でない選択肢は削除した。

資料Ⅲ 調査票

第10 回県ボランティア活動実態調査

- 回答締切日：9月9日(月)
- 問い合わせ先：兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ
- TEL：078-360-8845
- 調査の目的
本調査は、県民ボランティア活動を行っている団体やグループの実態や課題、ニーズ等を把握するために昭和59年から概ね5年ごとに実施しているもので、今後のボランティア活動の支援方を検討するための基礎資料となります。
- 調査対象団体について
本調査では、下記のいずれの項目にも該当する「ボランティア活動」を、主たる目的または活動の一環として行っている団体を対象としています。対象となる団体以外の方に、本調査のフォームが届いた場合は、本調査への回答はせずに、フォームの情報が記載されたメール・はがき等を破棄いただきますようお願いいたします。
- ◆ 「ボランティア活動」とは
 - ① 県民が行い、又は県民のために行う活動であること
 - ② 自発的で自律的な活動であること
 - ③ 不特定かつ多数の利益の増進に寄与する営利を目的としない活動であること
 - ④ 宗教活動・政治活動を主たる目的とする活動等でないこと
- 回答方法について
本調査は、Web上の調査フォームで回答していただきます。紙文書での調査はいたしません。また、回答は1団体につき1回限りです。(同一団体からの2回目以降の回答は無効)
- 個人情報の取り扱いについて
調査結果はすべて統計的に処理、分析し、記入内容(個人情報や団体ごとの情報など)の個別の公開は一切しません。
- メールアドレスについて
下記に入力いただくメールアドレス宛に、本調査の回答のコピーが自動送信されます。(代表者や団体の代表メールアドレス以外をご入力いただいても構いません。)

メールアドレス

* 必須の質問です

基本情報(回答の進捗状況:0/58)
貴グループ・団体の基本情報についておたずねします。(問1~8)

1. 記入者氏名

2. 団体名

3. 連絡先(電話番号)

以下の項目より、分析の対象となる調査項目となります。
調査結果はすべて統計的に処理、分析し、ご記入いただいた方の個人情報や団体ごとの情報など個別情報を公開することは一切ありません。

4. 団体所在地

1 つだけマークしてください。

神戸市	西脇市	赤穂市	朝来市
尼崎市	三木市	宍粟市	香美町
西宮市	高砂市	たつの市	新温泉町
芦屋市	小野市	市川町	丹波篠山市
伊丹市	加西市	福崎町	丹波市
宝塚市	加東市	神河町	洲本市
川西市	多可町	太子町	南あわじ市
三田市	稲美町	上郡町	淡路市
猪名川町	播磨町	佐用町	兵庫県外
明石市	姫路市	豊岡市	
加古川市	相生市	養父市	

5. 法人格を選択してください。

1 つだけマークしてください。

- 任意団体(法人格のない団体・グループ)
- NPO 法人
- 認定 NPO 法人
- 一般社団法人・一般財団法人
- 公益社団法人・公益財団法人
- 株式会社等の営利法人
- その他

6. 団体の発足年を入力してください。

* 西暦で整数(半角)のみ記入してください。
(例)2005年発足の場合(回答)2005

7. 会員の有無について、当てはまるものを選択してください。

1 つだけマークしてください。

- グループ・団体の活動者が会員
- 活動者と、活動の対象者やサービス・支援を受ける方を含めて会員
- 会員制はとっていない

8. 会員制をとっている場合、会員への会費の有無について、当てはまるものを選択してください。

1 つだけマークしてください。

- 会費を集めている
- 会費は集めていない

団体の活動状況について(回答の進捗状況: 8/38)
貴グループ・団体の活動状況についておたずねします。(問 9~28)

9. 貴グループ・団体がやっているボランティア活動の分野として、該当するものを選択してください。(複数回答可)

* 当てはまるものをすべて選択してください。

- ① 保健・医療の増進(例: 健康づくり、難病者の心のケア、医療環境の改善等)
- ② 福祉の増進(例: 高齢者福祉、児童福祉、障害者(児)福祉等)
- ③ 社会教育の推進(例: 学習機会の提供、社会教育の推進等)
- ④ まちづくりの推進(例: 町並み保存、まちの活性化等)
- ⑤ 観光振興(例: 観光商品開発、地域ブランド作り、観光による町おこし等)
- ⑥ 農山漁村又は中山間地域の振興(例: 過疎化防止運動、都市と農村の交流等)
- ⑦ 文化、芸術、スポーツの振興(例: 文化・芸術の活動、スポーツ活動)
- ⑧ 環境の保全(例: 自然環境保護、公害問題、リサイクル等)
- ⑨ 災害救援(例: 災害時救援、災害防止等)
- ⑩ 地域安全(例: 交通安全、犯罪防止、火災予防等)
- ⑪ 人権の擁護、平和の推進(例: 法律相談、セクハラ防止、DV 防止、平和の推進等)
- ⑫ 国際協力(例: 国際協力・交流、多文化共生、難民支援、留学生受入等)
- ⑬ 男女共同参画社会の形成の促進(例: 男性の育児推進、働く女性の環境改善等)
- ⑭ 子どもの健全育成(例: 不登校児のフリースクール、子どもの虐待防止、非行防止、地域の子育て支援等)
- ⑮ 情報化社会の発展(例: IT 技術開発、情報化支援、情報技術者の育成等)
- ⑯ 科学技術の振興(例: 科学技術の支援、研究、普及啓発等)
- ⑰ 経済活動の活性化(例: 起業支援、経営相談、経済活性化の取組等)
- ⑱ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充(例: 職業訓練、労働相談、雇用機会の提供等)
- ⑲ 消費者の保護(例: 生活情報提供、消費者の苦情・クレーム相談等)
- ⑳ ボランティア・NPO への支援(例: ボランティア・市民活動センター、NPO センター等)
- その他:

10(1)1 番目を中心となる活動分野を上記①~⑳の中から選んでください。

* 1 つだけマークしてください。

- ① 保健・医療の増進
- ② 福祉の増進
- ③ 社会教育の推進
- ④ まちづくりの推進
- ⑤ 観光振興
- ⑥ 農山漁村又は中山間地域の振興
- ⑦ 文化、芸術、スポーツの振興
- ⑧ 環境の保全
- ⑨ 災害救援
- ⑩ 地域安全
- ⑪ 人権の擁護、平和の推進
- ⑫ 国際協力
- ⑬ 男女共同参画社会の形成の促進
- ⑭ 子どもの健全育成
- ⑮ 情報化社会の発展
- ⑯ 科学技術の振興
- ⑰ 経済活動の活性化
- ⑱ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充
- ⑲ 消費者の保護
- ⑳ ボランティア・NPO への支援
- その他

10(2)2 番目を中心となる活動分野を上記①~⑳の中から選んでください。

1 つだけマークしてください。

- ① 保健・医療の増進
- ② 福祉の増進
- ③ 社会教育の推進
- ④ まちづくりの推進
- ⑤ 観光振興
- ⑥ 農山漁村又は中山間地域の振興
- ⑦ 文化、芸術、スポーツの振興
- ⑧ 環境の保全
- ⑨ 災害救援
- ⑩ 地域安全
- ⑪ 人権の擁護、平和の推進
- ⑫ 国際協力
- ⑬ 男女共同参画社会の形成の促進
- ⑭ 子どもの健全育成
- ⑮ 情報化社会の発展
- ⑯ 科学技術の振興
- ⑰ 経済活動の活性化
- ⑱ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充
- ⑲ 消費者の保護
- ⑳ ボランティア・NPO への支援
- その他

11. 貴グループ・団体の具体的な活動内容を記入してください。

12. 1番中心となる活動分野では、どのように活動していますか。(複数回答可)

* 当てはまるものをすべて選択してください。

サービスを提供したり、人材を派遣する

情報提供や、相談・アドバイスに応じる

親睦・交流などの場を提供する

イベントやシンポジウム等を企画・開催する

人材育成や研修等を行う

物品等の製造・提供(販売)を行う

事務所・会議室等の場を提供する

機関紙・広報誌、本や雑誌などを編集・出版する

資格等の認定・推奨・評価を行う

調査研究をする

施設の設定、運営をする

その他:

13. 貴グループ・団体の現在の活動状況について該当するものを選択してください。

* 1つだけマークしてください。

とても活発

どちらかというと活発

あまり活発ではない

活発ではない

14. 貴グループ・団体では、次の時点と比べて、**活動回数**は増えましたか。

※コロナ禍前後を通しての貴グループ・団体の活動の変化についてお答えください。

1行につき 1つだけマークしてください。

	団体が 発足してい ない	やや 増えている	やや 増えている	やや 増えている	やや 減っている	減っている
1年前(コロナ後)と比べて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3年前(コロナ禍)と比べて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5年前(コロナ前)と比べて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

15. 貴グループ・団体では、次の時点と比べて、**活動分野の種類**は増えましたか。

※コロナ禍前後を通しての貴グループ・団体の活動の変化についてお答えください。

1行につき 1つだけマークしてください。

	団体が 発足してい ない	やや 増えている	やや 増えている	やや 減っている	減っている
1年前(コロナ後)と比べて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3年前(コロナ禍)と比べて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5年前(コロナ前)と比べて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

16(1)

貴グループ・団体**発足時**の主な活動地域はどれに該当しますか。

※「平成の大合併」とは、平成11年から政府主導で行われた市町村合併のことを指します。

1つだけマークしてください。

小学校区内

「平成の大合併(※)」以前の市町内

一つの市町内(神戸市では区内)

複数の市区町内(群域など)

県内全域

県域を越えた広域(海外を含む)

16(2)

貴グループ・団体の**現在の**主な活動地域はどれに該当しますか。

※「平成の大合併」とは、平成11年から政府主導で行われた市町村合併のことを指します。

1つだけマークしてください。

小学校区内

「平成の大合併(※)」以前の市町内

一つの市町内(神戸市では区内)

複数の市区町内(群域など)

県内全域

県域を越えた広域(海外を含む)

以下の問17~25は、**団体**で活動されている方々について(団体の規模や、団体運営の核となる方、また**団体を構成する方々**)おたずねします。

17(1)

貴グループ・団体の現在の活動者数(活動を行うすべての人数)は何人ですか。

* ※半角・整数で数字のみ記入してください。

21. 貴グループに所属している方々の職業等について、あてはまるものを多い順に2つまで選択してください。
 ※再度選択すると選択を解除できます。
 1行につき 1 つだけマークしてください。

	1番目に多い職業等	2番目に多い職業等
会社経営者、自営業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
会社、行政機関などに勤務	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家事従事者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
定年退職者、年金生活者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

22. 貴グループ・団体において主として活動されているメンバーの方々は、主どのようなきっかけで活動に参加されましたか。(複数回答可)
 当てはまるものをすべて選択してください。

- 友人・知人・家族・親族からの紹介
- 前からいる活動者の紹介
- ほかのグループ、団体からの紹介
- 行政や社会福祉協議会(ボランティアセンターなど)からの紹介
- NPO 法人などの中間支援組織からの紹介
- 企業や商店などからの紹介
- シンポジウムやイベントを通じて
- 貴グループ・団体の出ずラジ、会報などを通じて
- 市町などの広報誌やマスコミなどの紹介、案内
- 貴グループ・団体のホームページ、ブログ等の情報を通じて
- SNSによる個別の声掛け(DM など)を通じて
- 貴グループ・団体の公式 LINE アカウントを見て
- 貴グループ・団体の Instagram を見て
- 貴グループ・団体の facebook を見て
- 貴グループ・団体の X(旧 Twitter)を見て
- 貴グループ・団体の Youtube 動画・ライブ配信を見て
- 貴グループ・団体の TikTok を見て
- SNS での口コミを見て
- その他:

17(2)
 17(1)の活動者数のうち、貴グループ・団体の運営を担っている人は何人ですか。
 ※事務局スタッフや会計などの役割を担っている人の数です。
 ※半角・整数で数字のみ記入してください。

18. 現在の活動者数は、次の時点と比べてどのように変化していますか。
 ※コロナ禍前後を通しての貴グループ・団体の活動の変化についてお答えください。
 1行につき 1 つだけマークしてください。

	団体が 発足して いない	増えている	やや 増えている	変わらない	やや 減っている	減っている
1年前(コロナ後)と比べて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3年前(コロナ前)と比べて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5年前(コロナ前)と比べて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

19. 男女別にみて、貴グループ・団体において中心となって活動している層は次のうちどれですか。
 1 つだけマークしてください。

- ほとんどが男性
- やや男性が多い
- 男女ほぼ同じくらい
- ほとんどが女性
- やや女性が多い
- わからない

20. 年代別にみて、貴グループ・団体において中心となって活動している層は次のうちどれですか。
 1 つだけマークしてください。

- 20 歳未満
- 20 歳以上、34 歳以下
- 35 歳以上、49 歳以下
- 50 歳以上、64 歳以下
- 65 歳以上、74 歳以下
- 75 歳以上

23. 事務的な打ち合わせを除いた、貴グループ・団体の日頃の活動状況をお聞きます。1年間の活動回数はどの程度ですか。

* 1つだけマークしてください。

5 回程度以下
 6 回以上、11 回以下
 12 回以上、23 回以下
 24 回以上、36 回以下
 37 回以上

24. 貴グループ・団体の日頃の活動で、1回あたりの平均活動者数はどの程度ですか。

* 1つだけマークしてください。

4 人以下
 5 人以上、9 人以下
 10 人以上、19 人以下
 20 人以上、49 人以下
 50 人以上、99 人以下
 100 人以上

25. 貴グループ・団体が集まる主な場所はどこですか。

1つだけマークしてください。

自宅
 専用の事務所・事務スペース
 貸会議室・スペースなど民間有料施設
 公民館や福祉センターなどの公共施設
 ボランティアプラザや市民活動センター
 オンライン(Zoom ミーティング等)
 その他。

以下の問26～28は、貴グループ・団体の活動に参加される方(参加者)についておたずねします。該当者がいるグループ・団体のみお答えください。

※以下の間でいう「参加者」とは、貴グループ・団体の活動の対象者やサービス・支援を受ける方、イベントへの参加者を指します(貴グループ・団体の構成員を除く)

※該当者がいない場合は、問29に進んでください。

26. 最近1年間における貴グループ・団体の活動に参加された方々についておたずねします。

貴グループ・団体の活動への参加者数はおおよそ何人ですか。

※半角・整数で数字のみ記入してください。

27. 現在の 貴グループ・団体の活動の参加者数は、次の時点と比べてどのように変化していますか。
 ※コロナ禍前後を通しての貴グループ・団体の活動の変化についてお答えください。
 1行につき1つだけマークしてください。

	団体が 発足してい ない	増えてい る	やや 増えている	変わらない	やや 減っている	減っている
1年前(コロナ後)と比べて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3年前(コロナ禍)と比べて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5年前(コロナ前)と比べて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

28. 貴グループ・団体の活動の参加者は、どのようにして活動に参加されるようになりましたか。(複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

友人・知人・家族・親族からの紹介
 前からいる参加者や活動者の紹介
 ほかのグループ・団体からの紹介
 行政や社会福祉協議会(ボランティアセンターなど)からの紹介
 NPO 法人などの中間支援組織からの紹介
 企業や商店などからの紹介
 シンポジウムやイベントを通じて
 貴グループ・団体の出すチラシ、会報などを通じて
 市町などの広報誌やマスコミなどの紹介、案内
 貴グループ・団体のホームページ、ブログ等の情報を通じて
 SNSによる個別の声掛け(DMなど)を通じて
 貴グループ・団体の公式LINE アカウントを見て
 貴グループ・団体のInstagram を見て
 貴グループ・団体のfacebook を見て
 貴グループ・団体のX(旧 Twitter)を見て
 貴グループ・団体の YouTube 動画・ライブ配信を見て
 貴グループ・団体の TikTok を見て
 SNS での口コミを見て
 その他。

団体の運営状況について(回答の進捗状況:28/58)
 貴グループ・団体の財政や運営上の課題など、運営状況についておたずねします。(問 29～41)

29. 貴グループ・団体の財政状況についておたずねします。令和5年度の支出総額はどのくらいですか。

* 1つだけマークしてください。

10万円未満
 10万円以上、100万円未満
 100万円以上、500万円未満
 500万円以上、1,000万円未満
 1,000万円以上、2,000万円未満
 2,000万円以上

30. 貴グループ・団体の令和5年度の支出総額は、次の時点と比べてどのように変化していますか。
※コロナ禍前後を通しての貴グループ・団体の支出総額の変化についてお答えください。
1行につき1つだけマークしてください。

	団体が 発足して いない	増えている	やや 増えている	変わらない	やや 減っている	減っている
1年前(コロナ後) と比べて	○	○	○	○	○	○
3年前(コロナ禍) と比べて	○	○	○	○	○	○
5年前(コロナ前) と比べて	○	○	○	○	○	○

貴グループ・団体の令和5(2023)年度の以下の収入内訳についてお答えください。

- (a)会費・入会金
- (b)受託事業収入
- (c)自主事業収入
- (d)ひよごボランティアプラザからの助成金(以下、プラザ助成金)
- (e)行政、社会福祉協議会(前項の(d)を除く)からの助成金(以下、行政助成金)
- (f)民間団体からの助成金(以下、民間助成金)
- (g)寄附金
- (h)借入金
- (i)その他収入

31. 令和5年度の貴グループ・団体の収入において、下記の各項目が占める割合はおよそ何割程度ですか。
※収入がない項目については「なし」を選択してください。
1行につき1つだけマークしてください。

	収入なし	約1割以下	約2~4割	約5~7割	約8~10割
(a)会費・入会金	○	○	○	○	○
(b)受託事業収入	○	○	○	○	○
(c)自主事業収入	○	○	○	○	○
(d)プラザ助成金	○	○	○	○	○
(e)行政助成金	○	○	○	○	○
(f)民間助成金	○	○	○	○	○
(g)寄附金	○	○	○	○	○
(h)借入金	○	○	○	○	○
(i)その他収入	○	○	○	○	○

32. (b)受託事業収入、(c)自主事業収入、(g)寄附金収入があった方におたずねします。
令和5年度のそれぞれの総額は、5年前(コロナ前)と比べてどのように変化していますか。
1行につき1つだけマークしてください。

	団体が 発足して いない	増えている	やや 増えている	変わらない	やや 減っている	減っている
(b)受託事業 収入	○	○	○	○	○	○
(c)自主事業 収入	○	○	○	○	○	○
(g)寄附金 収入	○	○	○	○	○	○

33. 活動者に対する経費・謝金の支給について、貴グループ・団体の方針はどうかですか。
1つだけマークしてください。

- 活動者が原則として自己負担する
- 交通費など必要経費は支給する
- 適切な金額の謝金を支給する
- その他

34. 貴グループ・団体には、以下のようなものがありますか。当てはまるものを下記からすべて選択してください。(複数回答可)

* 当てはまるものをすべて選択してください。

- 活動者や利用者の名簿
- 明文化された規約・会則
- 収支報告書、活動計算書
- 事業計画書
- 会報・ニュースレター
- チラシ
- 専用の事務所スペース
- 団体の基本情報(連絡先や事業内容等)の公開
- 相談できる税理士もしくは司法書士
- ホームページ・ブログ
- 団体の公式LINEアカウント
- 団体の公式Instagramアカウント
- 団体の公式Facebookアカウント
- 団体の公式X(旧Twitter)アカウント
- 団体の公式TikTokアカウント
- 団体の公式YouTubeチャンネル

35. 貴グループ・団体の活動や運営能力向上のための取組についてどのように考えていますか。
1 つだけマークしてください。

現在取り組んでいる
セミナー、研修会などの機会があれば是非学びたい
余裕があれば学びたい
特に検討する考えはない
その他:

36. 貴グループ・団体を運営していく上で、学びたいスキルはありますか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

情報発信(効果的な広報等)
 制度(開運法や税制等)
 資金調達の方法
 経理の知識
 人材確保・人材育成
 行政や他団体との連携・協働
 事業の企画・立案の強化
 その他:

37. 貴グループ・団体の日頃の雰囲気についておたずねします。
以下の(1)～(7)の項目それぞれについて、どの程度当てはまるか選択してください。
1…あてはまる
2…ややあてはまる
3…あまり当てはまらない
4…あてはまらない

(1)世間からどう評価されているか意識しながら行動している
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

(2)行政の政策動向を意識して活動を行っている
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

(3)行政の指導や助言に従って活動することが多い
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

(4)一人ではなく複数で団体の運営に当たることが多い
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

(5)活動の方針は常にみんなで議論して決めている
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

(6)会議は普段、和気あいあいとした様子で進行している
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

(7)活動に関する情報はみんなです分に共有されている
1 つだけマークしてください。

あてはまる 1 2 3 4
 あてはまらない

38. 貴グループ・団体の活動における問題点、課題は何ですか。(複数回答可)
* 当てはまるものをすべて選択してください。

活動者の数が足りない
 活動者の能力向上が必要である
 リーダーを支援する体制が弱い
 世代交代が遅れている
 活動に必要な資金が不足している
 活動場所の確保が難しい
 活動がマンネリ化している
 他団体(行政、企業を含む)の進出で活動の場が狭くなった
 活動者同士の意思疎通が十分でない
 組織運営・管理の知識、ノウハウが不足している
 社会的信用や社会での認知度が低い
 他の団体等との連携や協働が弱い
 地域社会との関わりが乏しい
 特に課題はない
 その他:

39. 貴グループ・団体は、今後の活動の方向性についてどのように考えていますか。

* 1 つだけマークしてください。

拡大、充実させる(問 40 へ進んでください)

現状を維持する(問 42 へ進んでください)

縮小する(問 41 へ進んでください)

やめる(問 41 へ進んでください)

40. 問39で**拡大、充実させる**とお答えいただいた方におたずねします。
どのように**拡大・充実**を考えていますか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

活動回数を増やしたり、活動範囲を拡大

活動内容の質を高めたり、提供方法を改善

新しい分野への進出

他の団体等との連携、協働

NPO 法人格の取得

認定 NPO 制度の活用

社団・財団法人格の取得

新たな活動者の確保

その他

41. 問39で**縮小する・やめる**とお答えいただいた方におたずねします。
活動の縮小や、やめようと考えている理由は何ですか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

目的を達成した

利用する人やニーズが少なくなってきた

活動する人の数が少なくなってきた

活動する場所の確保が難しい

活動をする資金が乏しい

後継者がいない・世代交代が難しい

人間関係の難しさ

事業のマンネリ化・モチベーションの低下

その他

他団体との協働等について(回答の進捗状況:41/58) 貴グループ・団体の他団体との連携・協働についておたずねします。(問 42~49)

※このページで調査は終わります。◆貴グループ・団体が連携されている以下の団体についておたずねします。

(A) 地域を基盤とするグループ・団体

(B) ボランティアグループ・団体(地域を基盤とするグループ・団体以外)

(C) 事業所等

(D) 学校等

42. 貴グループ・団体は、他の団体等と連携・協働して活動していますか。

* 1 つだけマークしてください。

活動している

活動していない(問 48 へ進んでください)

43(1)

(A) 地域を基盤とするグループ・団体について、貴グループ・団体が協働して活動している団体を選択してください。(複数回答可)

※「連携・協働した活動はしていない」を選択した場合、44(1)へ進んでください。
当てはまるものをすべて選択してください。

自治会

婦人会

老人会

青少年団体

防犯グループ

まちづくり協議会

民生委員

地域を基盤とするグループ・団体とは連携・協働した活動はしていない

その他

43(2)

43(1)の団体の中で、貴グループ・団体が連携・協働している団体の合計数をお答えください。
※半角・整数で数字のみ記入してください。

43(3)

43(1)で選択した団体について、貴グループ・団体が協働して活動している内容をお答えください。(複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

情報交換や交流会を開催

連絡会、協議会を設置

サービスを補完

イベントや行事等の共催

情報誌や機関紙を発行

事務室の共同使用

お互いの活動の支援やスタッフの受け入れ

その他

44(1) 次の、(B) ボランティアグループ・団体(地域を基盤とするグループ・団体以外) について、貴グループ・団体が協働して活動している団体を選択してください。(複数回答可)
※「連携・協働した活動はしていない」を選択した場合、45(1)へ進んでください。
当てはまるものをすべて選択してください。

- NPO 法人
- 法人格のないボランティア活動団体
- 一般法人
- 公益法人
- 該当するボランティアグループ・団体とは連携・協働した活動はしていない
- その他:

44(2)
44(1)の団体の中で、貴グループ・団体が連携・協働している団体の合計数をお答えください。(複数回答可)
半角・整数で記入してください。

44(3)
44(1)で選択した団体について、貴グループ・団体が協働して活動している内容をお答えください。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

- 情報交換や交流会を開催
- 連絡会、協議会を設置
- サービスを補完
- イベントや行事等の共催
- 情報誌や機関紙を発行
- 事務室の共同使用
- お互いの活動の支援やスタッフの受け入れ
- その他:

45(1)
(C) 事業所等の団体について、貴グループ・団体が協働して活動している団体を選択してください。(複数回答可)
※「連携・協働した活動はしていない」を選択した場合、46(1)へ進んでください。
当てはまるものをすべて選択してください。

- 企業(工場を含む)
- 小売店・商店街・大型店舗
- 病院
- 福祉施設
- 生協
- 事業所等とは連携・協働した活動をしていない
- その他:

45(2)

45(1)の団体の中で、貴グループ・団体が連携・協働している団体の合計数をお答えください。
半角・整数で記入してください。

45(3)

45(1)で選択した団体について、貴グループ・団体が協働して活動している内容をお答えください。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

- 情報交換や交流会を開催
- 連絡会、協議会を設置
- サービスを補完
- イベントや行事等の共催
- 情報誌や機関紙を発行
- 事務室の共同使用
- お互いの活動の支援やスタッフの受け入れ
- その他:

46(1)

次の、(D) 学校等の団体について、貴グループ・団体が協働して活動している団体を選択してください。(複数回答可)
※「連携・協働した活動はしていない」を選択した場合、48へ進んでください。
当てはまるものをすべて選択してください。

- 保育所・幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 大学
- 研究機関
- 学校等とは連携・協働した活動をしていない
- その他:

46(2)

46(1)の団体の中で、貴グループ・団体が連携・協働している団体の合計数をお答えください。
※半角・整数で数字のみ記入してください。

46.(3)
46(1)で選択した団体について、貴グループ・団体が協働して活動している内容をお答えください。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

情報交換や交流会を開催
 連絡会、協議会を設置
 サービスを補完
 イベントや行事等の共催
 情報誌や機関紙を発行
 事務室の共同使用
 お互いの活動の支援やスタッフの受け入れ
 その他:

47. 問43～46で回答いただいた他団体との連携・協働には、どのような効果がありましたか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

行事や事業の内容が充実した
 事業実施の負担が減った
 自分達の活動の短所や弱点が昇えできた(新たな課題が発見できた)
 他のグループ・団体との交流がさらに広がり、活動の場が広がった
 ボランティア活動の社会的認知が高まった
 特に効果はなかった
 その他:

48. 貴グループ・団体が今後、連携・協働を最も強化したい団体等はどれですか。
* 1 つだけマークしてください。

地域を基盤とするグループ・団体 ※問43(1)の団体
 ボランティアグループ・団体(地域を基盤とするグループ・団体以外) ※問44(1)の団体
 事業所等 ※問45(1)の団体
 学校等 ※問46(1)の団体
 特に必要と思わない
 その他:

49. 他の団体等と連携・協働して事業を進めるために必要なことは何ですか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

他の組織の情報が入手できること
 他の組織と出会う機会があること
 活動をつないだり、調整する中間支援組織等の相談機関が充実していること
 内部をつないだり、調整するコーディネーターが設置されていること
 内部での合意形成や体制が整っていること
 その他:

50. 現在、貴グループ・団体は、行政もしくは社会福祉協議会とどのような関係にありますか。
* 1 つだけマークしてください。

日常的なつながりがある
 呼びかけがあれば協力する程度の関係である(問52に進んでください)
 ほとんどつながりはない(問52に進んでください)

51. 問50で「日常的なつながりがある」とお答えいただいた場合におたずねします。
現在、行政もしくは社会福祉協議会とどのようなつながりがありますか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

協働事業を提案し実施している
 政策立案過程に参画している
 職員を対象にした研修等を開催している
 定期的な情報交換をしている
 助成金・補助金を受けている
 事業委託を受けている
 情報やアドバイスを受けている
 研修機会の提供を受けている
 活動の場の提供を受けている
 他の団体・組織との交流の場の提供を受けている
 政策提言を行っている
 その他:

52. 行政もしくは社会福祉協議会にはどのようなことを望みますか。(複数回答可)
* 当てはまるものをすべて選択してください。

各種申請や事業を実施するまでの手続きを簡素化してほしい
 行政・社会福祉協議会が提案する計画の立案過程に参画させてほしい
 協働事業に対して、行政・社会福祉協議会側の関与を多くしてほしい
 協働事業に対して、行政・社会福祉協議会側の関与を少なくしてほしい
 団体側の金銭的負担を少なくしてほしい
 書類作成など団体側の事務的負担を少なくしてほしい
 事業委託や共同事業を増やしてほしい
 助成金、人材、他団体の事業などの情報を提供してほしい
 人材養成のための研修事業を提供してほしい
 他の団体・組織との交流の場を増やしてほしい
 企業、商店などとの交流の場を増やしてほしい
 活動場を提供してほしい
 特になし
 その他:

53. 災害時の救援・復興支援活動についておたずねします。
貴グループ・団体として、災害時にどのような支援活動を過去に行なったことがありますか。また、今後行う意向がありますか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

	過去に行なったことがある	今後行う意向がある
支援の呼びかけや、関連情報の発信・共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
義援金の寄付、募金活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
救援物資の提供	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現地に赴いての支援・復旧・復興活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
被災者の受入・招待・交流活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特定の対象（子ども、女性、外国人等）への支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
避難場所の提供	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
避難所の支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
救援・復興支援活動を行なったことはない/ 活動をする意向はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

54. 兵庫県内におけるボランティア活動についての30年間を振り返り、下記の(1)～(9)の各項目についてどのような評価をされますか。

1…そう思う
2…ややそう思う
3…どちらともいえない
4…ややそう思わない
5…そう思わない

(1) ボランティア活動に対する一般的な認知・理解が高まった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(2) ボランティア活動に参加する人の層が広がり、多様性が高まった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(3) ボランティア活動が身近となり、気軽に参加できるようになった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(4) ボランティア活動が、社会の中で一定の役割を果たすようになった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(5) ボランティア活動を行う団体同士のネットワークが広がった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(6) ボランティア活動に対する社会制度や支援制度が充実した
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(7) ボランティア活動に対する学校教育での取り組みが活発になった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(8) ボランティア活動に対する企業の社会貢献活動が活発になった
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

(9) ボランティア活動を通じて「参画と協働」が進んだ
※「参画と協働」…地域をよりよくするために、行政だけでなく、県民の皆さん一人ひとりが知恵や力を出し合い、地域課題に取り組むことです。
1 つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

そう思う そう思わない

55. この30年間の国・県・市町等、行政の政策・施策等で、貴グループ・団体の活動に影響を及ぼしたものはどれですか。(複数回答可)
当てはまるものをすべて選択してください。

- 特定非営利活動促進法(NPO法)
- 認定NPO法人制度
- 一般社団法人及び一般財団法人制度
- 介護保険法
- 障害者総合支援法(障害者自立支援法)
- 生活困窮者自立支援法
- 指定管理者制度
- 個人情報保護法
- 助成金
- 情報提供・相談
- 活動している場所の整備・改修
- 活動場所の提供
- 人材育成
- 事業の委託
- 他団体との交流の機会の提供
- 特になし
- わからない
- その他

以下の問56～58では、貴グループ・団体の代表者についておたずねします。

56. 貴グループ・団体代表者の年齢を選択して下さい。
1 つだけマークしてください。

- 20歳未満
- 20歳以上、34歳以下
- 35歳以上、49歳以下
- 50歳以上、64歳以下
- 65歳以上、74歳以下
- 75歳以上

57. 貴グループ・団体の代表者が代表に就任している期間
1 つだけマークしてください。

- 1年未満
- 1年以上、3年未満
- 3年以上、5年未満
- 5年以上、10年未満
- 10年以上

58. 貴グループ・団体が発足してから何代目の代表者ですか。
※半角・整数で数字のみ記入してください。

調査はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。
※このまま「送信」ボタンを押してください。

諸注意

回答は1団体につき1回限りです。2回目以降のご回答は無効となります。
ご入力いただいたメールアドレス宛に、本調査の回答のコピーが自動送信されます。(代表者や団体の代表メールアドレス以外をご入力いただいても構いません。)
●回答の内容等について
調査実施期間内に限り、自動送信されるメール(本調査の回答のコピー)から編集することができます。その際、別の回答を新規に作成しないようにしてください。
回答の照会はいたしませんので、ご承知おきください。

資料Ⅳ 県民ボランティア活動実態調査委員会

1 設置要綱

(設置)

第1条 阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、ボランティア活動を行っている県内の団体やグループの実態、課題、ニーズ等を把握するとともに、今後の支援方策を検討するため、実態調査を実施するにあたり、「県民ボランティア活動実態調査委員会」(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 県民ボランティア活動実態調査内容の検討
- (2) 県民ボランティア活動実態調査結果の分析及び報告書の作成
- (3) その他調査の実施にあたり必要な事項は別に定める

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員で組織する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、令和7年3月31日までとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員のうちからひょうごボランティアプラザ所長が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、ひょうごボランティアプラザ所長が招集する。

- 2 委員が出席できない場合は、代理出席を認めるものとする。

(謝金)

第7条 委員が会議その他の委員会の職務に従事したときは、別に定めるところにより、謝金を支給する。

(旅費)

第8条 委員又は第6条第2項に定める委員の代理が委員会の職務を行うために、会議に出席し、又は旅行したときは旅費を支給する。

2 委員長が必要と認めた委員以外の者が会議その他委員会の職務を行うために、会議に出席し、又は旅行をしたときは、旅費を支給する。

3 第1項及び第2項の旅費の額は、兵庫県社会福祉協議会旅費規程の規定による。

(事務局)

第9条 委員会の事務局は、社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザに置く。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和6年5月13日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、令和7年3月31日限り、その効力を失う。

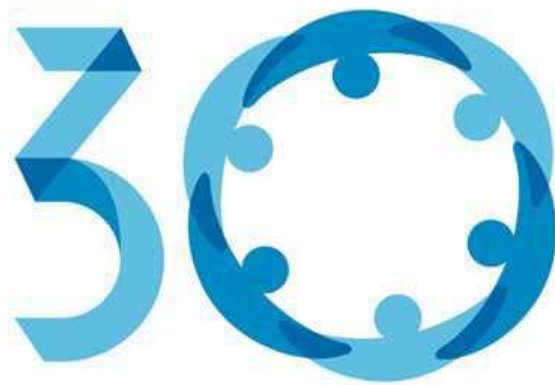
別表（第3条関係）

区分	氏 名	所 属・職 名
学識経験者	宮垣 元	慶應義塾大学総合政策学部 教授
NPO	中山 光子	(認定)宝塚NPOセンター 理事長
地域活動	冬頭 佐智子	生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部 統括部長
社協	長谷部 治	(福)神戸市社会福祉協議会 地域支援部 福祉支援・活動推進 担当課長

2 委員会開催状況

開催日	内容
令和6年6月14日	調査の概要、調査項目の検討
令和6年7月25日	調査票の検討・確定
令和6年11月15日	報告書の検討
令和7年2月7日	報告書の検討・確定

「うすれない記憶はない。
つなぐべき決意がある。」



阪神・淡路大震災30年
1995 1.17

第10回県民ボランティア活動実態調査報告書（令和6年度）

発行日 令和7年2月

発行 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ

住所 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-1-3神戸クリスタルタワー6階

電話 078-360-8845